

秋のおためしレッスン

小学生コース

教材のご紹介

①国語力を磨く教材

- ・四字熟語
- ・たんぽぽ（古典の素読）
- ・作文
- ・さくら（精読力）

②算数脳を鍛える教材

- ・算数プリント（文章題）
- ・キューブキューブ（空間認識）
- ・パターンメーカー（平面図形）

③発想力・表現力教材 「たこマン」

④思考力教材 「なぞぺー」

⑤書き写し教材 「あさがお」

⑥計算反復教材 「サボテン」

⑤⑥は宿題として、ご家庭で1日1ページ取り組みます。

なぜ花まるの授業は楽しいの？



それは、**低学年の子どもの特性**を研究し、授業スタイルや教材に工夫を凝らしているから！

花まるの工夫その①

90分の授業で11種もの教材を使用することで、短時間で教材を切り替え、最後まで集中を切らさずに授業を楽しめます。

花まるの工夫その②

大きな声で音読をしたり、積み木を使って手を動かしたりする「動の時間」の後に、集中してペーパー問題に取り組む「静の時間」を設けることで、メリハリのある授業が集中力を高めます。



①国語力を磨く教材

【四字熟語】

みんなで元気に四字熟語を素読します。
四字熟語を「音」として体に染みこませることで、高学年以降での学びを助けます。1年間で100個の四字熟語に触れます。みんなで一緒に声を出すという「群集心理」のおかげで、自然と声に出して読めるようになります。



①国語力を磨く教材

【たんぽぽ】

古典の素読教材です。日本語の響きの美しさ、リズムのすばらしさを「音」としてかみしめます。時代を超えて語り継がれる力強い言葉を基礎教養として身につけ、語感を育みます。



【扱う名文】

11月

- ・ 学問のすゝめ
- ・ 土佐日記

12月

- ・ 竹取物語

①国語力を磨く教材

【さくら】

文章読解に欠かせない「精読力」を鍛えます。精読力とは、一言一句読み落とさない力の事です。一言一句読み落とさない為には、まずは一言一句聞き落とさないというところからスタートしていきます。聞く力と学力は比例する、と言っているほど重要です。授業では、「クイズを出すから、よく聞いておいてね」と伝えてからさくらを読み聞かせます。そうするとゲームが大好き、遊びが大好きな子ども達が自ら集中して聞くことができるようになります。



①国語力を磨く教材

【作文】

授業では毎回1枚作文を書きます。花まるの作文の目的は「自由自在に書ける」ことです。自分の言葉で書く力というのは様々な場面で求められます。ありきたりな文章、正解のような文章を書ける様になるのではなく、正直な自分の気持ちや心揺さぶられた経験を文字で綴る練習をしていきます。素直さ溢れるこの時期にしか書けない作品を書き、文章でも自分を表現する訓練を行います。
(算数大会では作文は書きません)

														じゅう作文	
														だい	めい
														めい	い
														学年	
														な	ま
														月	
														日	

花まる学習会

②算数脳を鍛える教材

【算数プリント】

「うちの子、文章題が苦手で・・・」というご相談は後を絶ちません。実は文章題を解くためには、

- ①自分で文章が読める ②文中の単語の意味が分かる
- ③文章全体を理解して映像として増減をイメージできる
- ④問題のポイントが見抜ける
- ⑤数の増減が計算と結びつく ⑥正しく立式する
- ⑦正しく計算する
- ⑧求められる形で答えを書く(単位など)

とたくさんのステップがあり、ひとりひとりのつまずきを見極めながら時間をかけて身につけていく必要があります。「もう！また間違っって！何回間違えるの！」という指導では、子どもの苦手意識が育つだけ。花まる学習会では、何度間違えても根気強く子どもと向き合い、最後には必ず全問正解の大きな花まると100点を書いて返却する「最終満点法」で、やる気と自信を育みます。



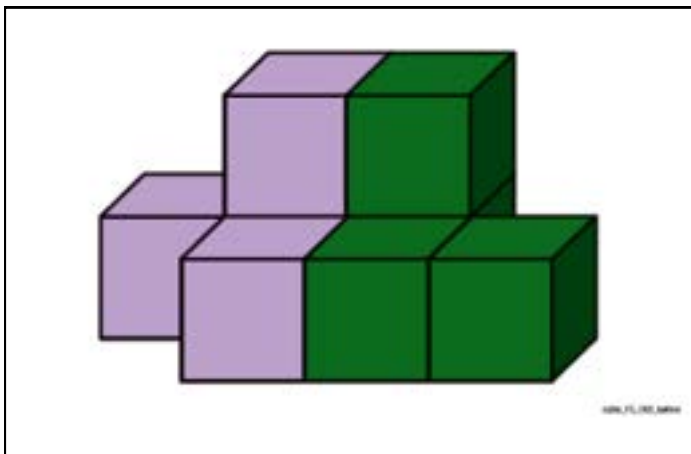
最後はみんな100点でニッコリ笑顔！！

② 算数脳を鍛える教材

【キューブキューブ】

「空間認識力」を楽しみながら鍛える教材です。花まる学習会オリジナルの立体ブロックを使い、見本と同じ形を目の前に再現する課題です。立体をイメージするという複雑な脳のはたらきを、楽しく遊びのように鍛えます。

「空間認識力」や「平面図形」の問題はあらゆる入試で出題されますが、差がつきやすい課題でもあります。10歳までに実際の立体に触れてたくさん動かした経験こそが、頭の中で図形をイメージする力の土台となり、高学年になってからの図形センスに繋がっていきます。



②算数脳を鍛える教材

【パターンメーカー】

平面図形の認識教材です。フラッシュカード形式で一瞬だけ提示したカードを目に焼き付けて、手元の4枚のカードを並べ替えます。

どのように組み合わせると同じ形ができるかをイメージして考え、手を動かしながら平面図形の認識能力（補助線を思い浮かべる力）を鍛えます。



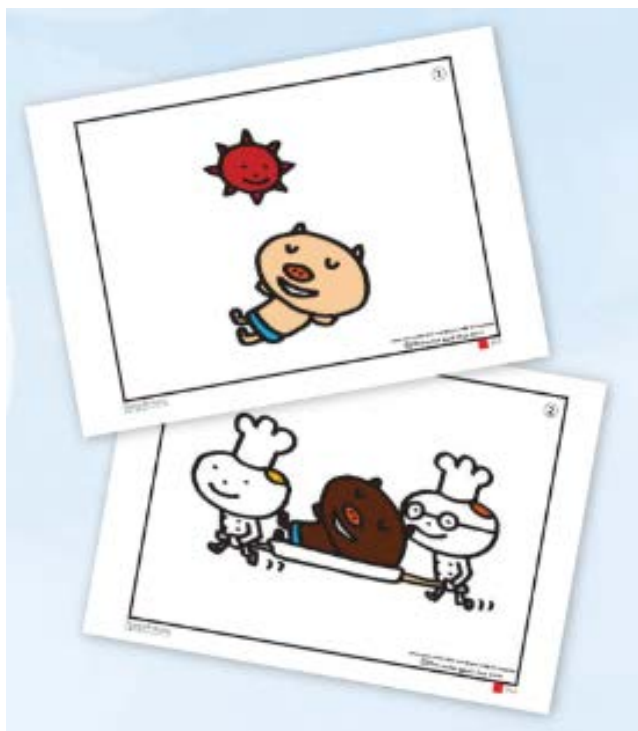
「できた！」と大きな声で口に出すことで達成感が強まり、自信と意欲が高まります！

③ 発想力・表現力 を育てる教材

【たこマン】

「たこマン」とは、「ふたこまマンガ」の略。
1コマ目の絵を見て、2コマ目のオチを考えます。
正解のない問題に対して、周りの子どもたちを
笑わせる展開を考えることで、発想力を鍛えます。
また、「正しく・わかりやすく・魅力的に」
伝える力を磨きます。発想力だけでなく、主体
性や表現力も鍛えます。

この後、何が起こるかな？！



正解のない課題だからこそ、「間違い」を恐れることなく、
考えること、発表することを楽しめる教材です！

④ なぞぺー

子どもたちに大人気！

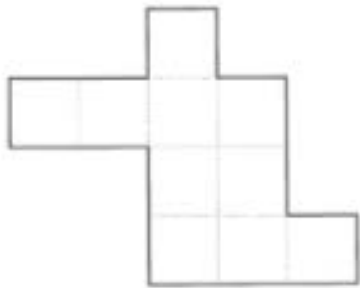
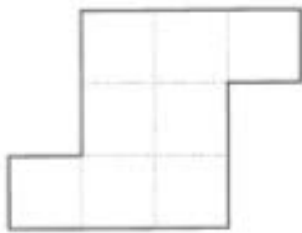
花まる学習会オリジナルの思考力教材です。

思考力において差のつきやすい5つの分野

（空間認識、平面図形、論理、発見、試行錯誤）に楽しく取り組みます。**算数・数学のプロが厳選した良問**で、思考のセンスを磨きます。（学年に応じて内容は異なります）

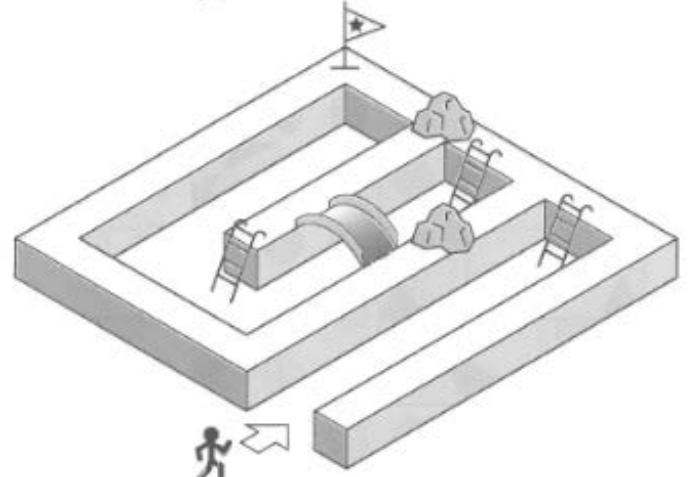
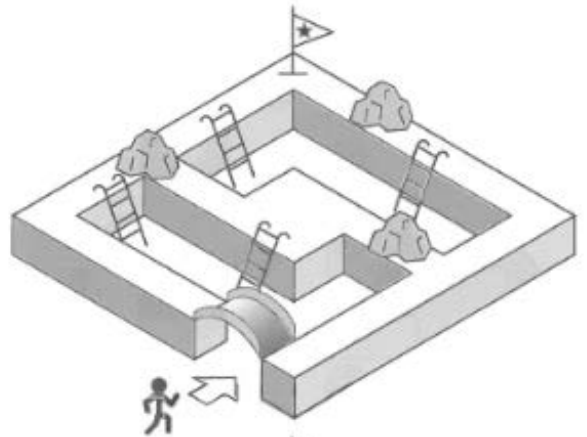


同じ形になるように、線を引いて分けてみましょう。



迷路やパズルなど、
楽しみながら思考力を
鍛える！

ゴールを目指しましょう。



「できた！」という達成感
が意欲や主体性を育みます。

⑤ あさがお



宿題（１日１ページ）の書き写し教材です。

一言一句を正確に書き写す力は、読解に必要な「**精読力**」につながります。また「ゆっくり丁寧に」ではなく「読める字でテキパキと」書き写すことで、板書量が増える**高学年以降の学習**にもしっかりついていけるスピード感を養います。書き写すだけという、取り組みやすい内容なので、「毎日机に向かう」という習慣作りにはピッタリ！学校の宿題以外の**学習習慣の第一歩**におすすめです。

月		日					
お		し		う		「	
お		ょ		らの		は	
ば		う		のは		な	
ん、		じ		た		さ	
		き		け		か	
こ		じ		で、		じ	
ば		い				じ	
んが、		さん、		ぽ		い	
				ち			
		ほ		が			
		っ		なく、			
		た					
		れ					
		ば					

書き写しの題材は、童謡や詩など。美しい日本語に触れ、語感を磨く効果もあります。
＊内容は学年ごとに異なります。

⑥ サボテン

宿題（1日1ページ）の計算教材です。
一見ただの計算教材ですが、
ユニークなのはその**取り組み方**です。
以下の2つのルールのもと、取り組みます。



- ①時間を計って**3分間だけ**取り組む
- ②答え合わせをしても間違った問題の**やり直しはしない**

なぜそれで計算力がつくのか？

気になった方は**次のページ**をご覧ください！

1日1ページ、3分間！
家庭学習の習慣づけに
ぴったりの内容です！

1 分 秒 月 日

$5-2=$	$9-4=$
$7-5=$	$6-5=$
$4-1=$	$4-3=$
$6-3=$	$8-7=$
$9-2=$	$3-1=$
$8-4=$	$5-3=$
$10-5=$	$7-2=$
$3-2=$	$8-3=$
$7-6=$	$9-5=$
$4-2=$	$10-2=$

扱う単元

【1年生】

- ・繰り下がりの引き算
- ・足し算特訓
(49マス計算)

【2年生】

- ・九九

【3年生】

- ・分数の足し算・引き算
- ・掛け算の筆算
(2ケタ×2ケタ)

なぜサボテンは、3分間だけ？やり直しもしないの？

それは低学年の児童の特性を踏まえた構成になっているからです。

1つは「**集中力**」に関係します。低学年の子どもの集中力は3分間が限度と言われています。集中を欠いた状態でだらだらと計算に取り組んでも精度が上がらないばかりか、「**勉強は嫌なもの!**」と刷り込まれてしまうことさえあります。子どものやる気を削がないために、サボテンは「3分間でできたところまで」なのです。

もう1つ、子どもたちは「**今**」しか見えていないため、解き直し、やり直しはしません。これも勉強嫌いにさせないためのポイントです。低学年の子どもたちは、「今」「目の前のこと」しか目に入りません。「**過去の振り返り**」や「**復習**」がまだまだ苦手な時期なのです。せっかく解き終わって丸付けも終わったページを「もう一度解きなさい!」と言われるのは、大人と違って大変な苦痛です。

こうした**低学年の子どもの特性**を踏まえて、サボテンは1ヶ月の間に同じような問題が繰り返し何度も出てくるように作っています。つまり、その日に嫌がる子どもに無理やり解き直しをさせなくても、子どもたちは翌日以降に知らぬ間にちゃんと「**復習**」できる、という仕組みなのです。

全ては、勉強に苦手意識を持たず、「**学習が楽しい!**」という気持ちで成長して欲しいから。

サボテン以外の教材にも、工夫が満載です。

気になった方は、ぜひ花まるのおためしレッスンを体験してください!

